

(別紙)

購入物品仕様

調達機器及びその構成

- 1 全自動錠剤分包機は、次の要件を満たすこと。
 - (1) 処方解析監査装置から分割生成処理・包装形態指示を制御装置が受け取り、順次、一包化分包ができること。
 - (2) 薬剤の収納カセット数が 204 種以上であること。
 - (3) 薬剤の補充の度合いに合わせ、配置を自由に変更できること。
 - (4) 全棚が錠剤カセットを自動で認識することができ、配置するカセットの場所及び種類を問わず、錠剤カセットに取り付けられているタグと分包機内の棚に設置されているタグ識別装置で薬品の照合ができること。
 - (5) 全自動錠剤分包機に装備される手まき錠剤コンベアは、各マスに LED ランプが搭載されており、錠剤を投入すべきマスの LED ランプを点灯させることで錠剤の誤投入が防止できること。
 - (6) 錠剤の収納カセットが帯電防止性及び防湿性等に優れていること。
 - (7) 錠剤の補充に際して、収納方式はスライドキャビネット方式を採っており、一度に 34 種以上の残量確認ができること。
 - (8) カセット収納部は全開にすることができ、一括して充填作業が行え、作業効率が良いこと。
 - (9) 本体へのカセット装着は、本体凸部へカセット凹部を被せるだけの簡単装着であること。
 - (10) 錠剤や半錠などの薬品形状にあわせて、リアルタイムに可変対応できる特殊カセットを 4 個以上搭載していること。
 - (11) 手撒きコンベアを利用することなく、分包機内に収納していない錠剤(後発薬品や頻出薬品等)を高速に払い出し分包できること。
 - (12) 15 インチの大型のタッチモニターを搭載していること。
 - (13) 全自動錠剤分包機の一包化分包速度は 54 包/分以上であること。
 - (14) 別包包装ができること。
 - (15) カセットの配置換えが容易に行えるよう、薬剤収納カセットは 1 種であること。
 - (16) 分包紙のカットが自由に設定できること。

- (17) 至急の割り込み及び機器の指定もできること。
- (18) 非実装薬剤の一包化が容易にでき、非実装薬剤のリストがタッチパネルに表示できること。
- (19) 分包した薬剤内容の確認が容易にできること。
- (20) 患者氏名、用法及び薬品名の印字ができること。
- (21) 処方区分、病棟毎に自動で印字内容を変更できること。
- (22) 全自動錠剤分包機の印字は全行熱転写方式であること。
- (23) 氏名、ID 番号及び用法(特殊な場合も含む)等の分包紙への印字は鮮明であること。
- (24) 情報提供の観点から、薬品名などを印字できること。
- (25) 監査面及び服用面からミス防止に役立てるため、分包紙に患者名、薬品名、用法、バーコード、イラスト及び写真等の多彩な印字や表現ができる印字機能(Windows フォント機能)を標準で搭載していること。
- (26) 分包された分包紙を着色するための 4 色マーカー機能が付加できること。
- (27) 全自動錠剤分包機で使用する分包紙は、薬品に対しての品質保持に優れていること。また、シールずれのない二ツ折り分包紙を採用し交換も容易であること。
- (28) 現在使用している調剤支援システムから、引き続き一包化データを受け取り、分包稼働させることができること。
- (29) 全自動錠剤分包機の操作、保守及び点検が容易にできること。
- (30) 全自動錠剤分包機のサイズは、W1160mm×D600mm×H1960mm 以下で、甲の担当者が指定する場所に設置できること。
- (31) 制御用 PC を 1 台、全自動錠剤分包機を 1 台設置すること。

2 クライアント PC は、以下の要件を満たすこと。

- (1) CPU がインテル Core i3-12100 (4.30GHz) 相当以上であること。
- (2) 主記憶装置の容量は 4GB 以上であること。
- (3) 256GB 以上の物理容量を持つソリッドステートドライブを内蔵していること。
- (4) DVD-ROM ドライブを内蔵していること。
- (5) 19 インチ以上、解像度 1280×1024 以上の液晶カラーディスプレイ、日本語キー入力付きキーボード及びマウスが付属していること。
- (6) オペレーティングシステムは Windows 10 Professional 日本語

版相当以上であること。

- (7) 1000Base-T 以上のインターフェースを 1 個有し、通信プロトコルは TCP/IP であること。